



# 串間市立秋山小学校 学校支援訪問の紹介

訪問日 令和2年10月7日(水) 午後0時50分から午後4時

訪問者 中部教育事務所(指導主事等3名) 串間市教育委員会(指導主事等3名)

今回紹介するのは、串間市立秋山小学校です。児童数が8名の小学校で、2年、4年、6年に児童が在籍しています。塩月貴校長先生は「小学校段階でどのような力を身に付け、中学校につないでいくのかを職員が共有し『心の強さをもつ児童の育成』を目指している」という話をしてくださいました。先生方は、「児童のために」という高い意識のもと、「知」「徳」「体」の充実のために、校内研修とOJTの充実を図っておられます。

今回は、「知」＝「確かな学力」を保障するための工夫を紹介します。

## 工夫1 求められる資質・能力の分析

7月下旬に、串間市全体で同一日に実施した全国学力・学習状況調査の自校採点結果を踏まえ、落ち込みの見られる問題を把握・分析しています。

さらに8月の職員研修では、全職員で問題を解き、「どのような問われ方をしているのか」「どのような授業を展開すれば誤答を減らすことができるのか」という視点で問題分析を丁寧に行って授業に繋げようとしています。

例えば、右に示した令和2年度算数2の(2)には「 ~~$5 \times 4 = 20$~~ だから、答えは20cmです。」という「求め方」が示されており、「 $5 \times 4$ 」の立式の意味を「5」と「4」が何を指しているのかを明確にして説明する問題になっています。

このように立式の構成要素や性質を基に「事実」を記述する問題に加え、1の(5)のように「方法」を記述する問題、4の(2)のように「理由」を記述する問題があり、思考したことを説明することを授業に反映させようとしています。

図2の四角柱は前面が正方形で、図2の四角柱の上すべての側面に紙をはるためには、図3のような1枚の大きな長方形の紙の横の長さを、どのくらいにすればよいのかを考えます。

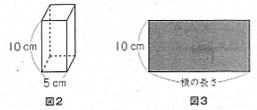


図3の横の長さは、次のように求めることができます。

求め方  
 $5 \times 4 = 20$ だから、答えは20cmです。

図2の四角柱について、求め方の中の「 $5 \times 4$ 」は、どのようなことを表していますか。「5」と「4」が何を表しているのかわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

明示されている解き方(考え方)の意図について説明する力が求められます。

## 工夫2 児童の実態を踏まえた作問(思考する発問)

「教科書を教える」だけにとどまらず「教科書で教える」ことを授業改善の視点にしています。

例えば、小学校第6学年の授業で、啓林館教科書「わくわく算数6」のP125をそのまま提示するのではなく、工夫1で分析した「求められる資質・能力」を意識し、教師が問いを「変換・加工する」という工夫を加えています。次に紹介する問題は「板をLの形に並べることに決めた」という結論を示すことにより、児童が思考し説明することまでをねらいとしています。

### 問題

さくらさんたちは、長さ1mのしきり板を11枚並べて、菜園を作ります。その菜園には、4種類の野菜を植える予定です。たくさん収穫するためには、菜園の面積をできるだけ大きくしたいとさくらさんは思っています。

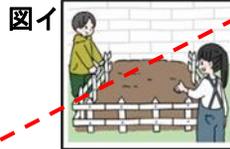
【だいちさんの考え】

ぼくは、この板を図アのようにLの形に並べようと思っています。



【ひなたさんの考え】

わたしは、この板を図イのようにUの形に並べようと思っています。



さくらさんたちは、縦、横、何枚ずつ並べればよいか、だいちさんとひなたさんの考えについて調べてみました。

そして、板をLの形に並べることに決めました。

板をLの形に並べることに決めた理由を、表や言葉、数を使って説明し、菜園の面積が最大となる縦・横の板の枚数を求めなさい。

必要な情報かどうかを判断する力を育成するための工夫があります。

全国学力・学習状況調査における問われ方を分析し、問題を変換・加工することで、思考したことを説明する(協働的な学習を進める)工夫があります。



自分の考えを説明する児童の姿

今回の学校訪問において、串間市教育委員会の阿部泰宏教育指導監が次のような指導講評をされました。

「まず、学習指導要領に基づき、『身に付けさせたい力(指導事項)』を確実に整理してください。次に、一問一答式を減らし、「なぜ?」という理由や根拠を問う発問を意図的に授業に組み込んでください。これからは、思考や判断を通して最適解を見出す力や、相手によりよく伝え、協働的に学ぶ力を育成することが求められます。」

今回の事例は、「板をLの形に並べることに決めました」という結論を踏まえることで、児童から「表にかいて調べる」「両方とも調べる」「面積が最も大きくなるときを見つける」「菜園の縦と横の長さを変えて調べる」などの見通しが生まれました。さらに、教師のねらいどおり、表を使って調べたり、2つの考え方を比較したりしながら考えを説明する学習ができていました。「分析を生かすことの大切さ」を実感できる授業が展開されていました。